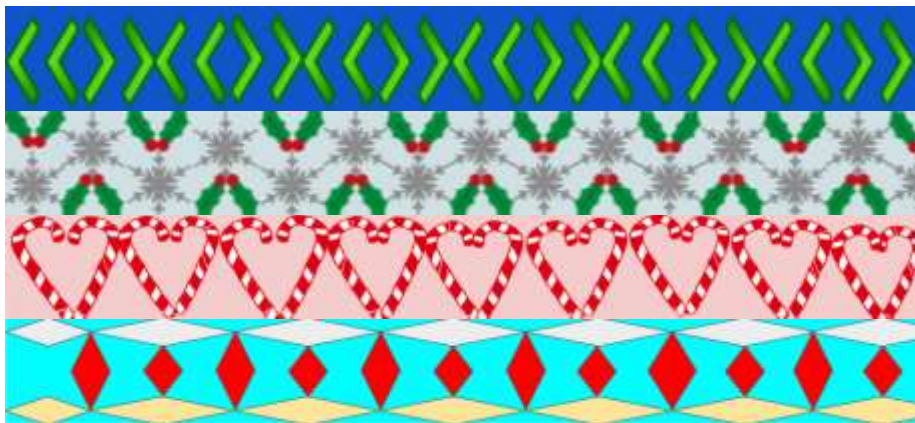


# お茶の水女子大学附属学校園での実践を基にした 実践事例報告

1. 実践した学校園・授業者：横浜市立仲尾台中学校・矢野修人
2. 学年・教科等・単元等：中学校第1学年・数学科・「平面図形」
3. 基にした実践の学校園：お茶の水女子大学附属中学校
4. 基にした実践：「My マスキングテープをつくろう！」  
〔 お茶の水女子大学附属学校園 実践・論文データベースにおける  
「平面図形」の事例（授業者：藤原大樹教諭） 〕

## 5. 実践の概要

令和4年11月に実践した。単元の第5～6時に図形の移動の活用として2時間扱いで設定した。第1時はスライドで伝統模様を提示し、図形の移動でとらえ直した。その後、藤原実践の作品例を示し、3～4人の班で共有しながらテープづくりに取り組んだ。スライドは班ごとに割り当てるものと、それらをリンクしたクラス全員のものを用意した。第2時の前半で作業を終え、後半は他の生徒の作品を鑑賞して、スライド上でコメントを送り合った。



生徒のコメント

交互に2つの図形を回転させて作っていて面白いと思いました。

単体でスティックを見てこんな発想するのか！！と見たとき驚きました。回転移動と対称移動を組み合わせ、形（元型）から違う形に変える発想がいいと思います。

## 6. 実践してみた感想など

数学が苦手な生徒にも取り組みやすい課題であり、使用する移動を意識できていた。鑑賞では積極的にコメントしていたが、移動に関する記述はあまり見られなかった。完成した作品はシール用紙に印刷して配付した。ノートやファイルに貼ったり、生徒同士で交換したりする姿が見られた。また、学年全員分の作品を廊下に掲示して、他クラスの生徒も鑑賞できるようにした。授業後のアンケートでは、ほとんどの生徒が肯定的な回答をしていた。